

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 8	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b> Moderate wine consumption in the prevention of metabolic syndrome and its related medical complication. メタボリック症候群とその合併症の予防に対する中等量のワイン摂取の影響	
<b>執筆者</b> Liu L, Wang Y, Lam KS, Xu A.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Endocr Metab Immune Disord Drug Targets.2008; 8: 89-98.	
<b>キーワード</b> moderate wine consumption, resveratrol, polyphenol, metabolic syndrome 中等量のワイン摂取、レスベラトロール、ポリフェノール、メタボリック症候群	
<b>要 旨</b> <p>メタボリック症候群は、糖尿病の進展や、高齢者の死因のトップである循環器疾患のリスクを上げる一連の心血管代謝系異常と深い関係がある。最近の研究では、中等量のワイン摂取はメタボリック症候群やその関連疾患の進行を予防することが報告されている。様々な人種で中等量のワイン摂取とメタボリック症候群や動脈硬化性心疾患の発症低下の関連が多く疫学研究によって示されてきた。脂質に対する中等量飲酒の良い効果に加え、赤ワインに豊富に含まれるポリフェノールが抗酸化、抗炎症、血管保護、インスリン感受性などの機序を通じ、メタボリック症候群に対する複数の良い効果を有するとされている。赤ワインに含まれるポリフェノールの中で注目すべきは、レスベラトロールであり、これはまるでカロリーを制御しているかのような役割から、非常に注目を浴びているフィトアレキシンである。この化合物は、寿命を延長することや、過食によりインスリン抵抗性や代謝系が悪影響を受けないように、NAD(+)依存性ジアセチラーゼ SIRTUINS の強い活性剤として作用することができる。更にレスベラトロールは、AMP 活性化蛋白分解酵素を刺激することにより、またミトコンドリアの数を増やしたりすることによって、メタボリック症候群に対し多くの防御作用を発揮する。この文献の中では最近発表された研究成果の中から、中等量のワイン摂取がメタボリック症候群や代謝性—心血管系合併症に対し防御作用があるという疫学的、実験的エビデンスに焦点をあて、レスベラトロールに絞って赤ワインに含まれるポリフェノールの様々な有用な作用の分子メカニズムについて論じる。</p>	